

プで函館が2位。銀行預貸率は100%預金に対し70%貸出の具合。予裕のある時こそ投資の時期だと思ふが。当地もテクノポリスの推進。観光行政として第3セクター方式に依る函館ロープウエーの積極投資。先行投資こそ産業隆盛の根元であり、創意と工夫が必要である。

- ① テクノポリスの推進を積極的に。
第2次産業を強化（NEWメディアー構造）
- ② 高速交通体形の強化
 - a. 3,000米の滑走路（既決）
 - b. 自動車道路の整備
 - c. 新幹線の函館乗入れ
- ③ 63年7月から挙行される青函大博覧会の成功。
これに依って経済・行政の飛躍的發展が期待出来る。

◎ 出席報告

会 員 数	65名	出 席 率	函 館 北 12月 3日	89.23%
出 席	41名		函 館 東 12月 2日	92.50%
欠 席	24名		函 館 11月27日	96.68%
他クラブ出席	17名		函館五稜郭 11月28日	100.00%
出席合計	58名		函館亀田 12月 1日	83.33%
除 外 者	0名			

次回・12月23日

プログラム

函館北R.C. クリスマス家族会

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館国際ホテル

事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

第251地区 第11分区



1986~1987

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

マツト・カパラス 国際ロータリー会長テーマ

Rotary brings hope

ロータリーは希望をもたらす



7-5 巖法華の海 椎谷 龍彦 会員

《第1132回例会》 第26回 12月23日(火)

本日のプログラム

函館北R.C. クリスマス家族会

(12月24日(水)の例会を本日の移動夜間例会へ)

★会 長 沢田 鶴造 ★幹 事 石橋 輝男

12月17日の記録

◎司 会 沢田 鶴造 会長 ◎齊 唱 手に手つないで

◎ピジター 函館R.C.木島 茂 君他5名、五稜郭R.C. 本田元清 君
亀田R.C.松崎和夫 君

◎会長報告 沢田 鶴造 会長

○去る11月16日に、当クラブと友好関係を結んでいる台北の東北R.C.のメンバーが当地を訪問しましたが、その時の写真が送られてきております。関係の分を各自お取り下さい。

○また、その訪問の時に、台北の東北R.C.の5周年記念の話がありました。記念日は、新年の1月5日ということでしたが、その時期は何かと忙しく、こちらから訪問することは困難であるという話をしておりました。それを受けて、東北R.C.の理事会は、記念行事の日を2月22日に調整・決定いたしました。それに伴う台北姉妹クラブ訪問ツアーのスケジュールは別紙のようになっておりますが、先方のクラブがわざわざ日程変更までしてくれておりますので、できるだけ多数の方が、奥さん同伴で参加されますようお願い致します。

台北姉妹クラブ訪問ツアー(案)の概要。

(第1日目)2月21日(土) 函館発10:05 → 羽田着11:25

羽田発15:55 → 台北着18:30 (台北泊)

(第2日目)2月22日(日) 午前:市内観光、昼:例会、午後:故宮博物院、

夕:現地のクラブとの交流パーティー (台北泊)

(第3日目)2月23日(月) 自由行動 (台北泊)

(第4日目)2月24日(火) 台北発12:30 → 東京着16:10 (東京泊)

(第5日目)2月25日(水) 羽田発08:10 → 函館着09:25 解散

○12月4日の当クラブ例会において協力の要請がありました、函館北部ローターアクトのチャリティー・ダンスパーティーについてですが、成功裡に終了しましたということで、ローターアクト会長の浜中君、副会長の岡田君から連名で礼状が参っております。

○次年度の役員の発表を副会長の川村会員よりお願い致します。

川村 邦雄 副会長発表

次年度の役員ならびに役割分担を発表いたします。これはあくまでも予定です。

会 長	川村 邦雄 会員
副会長・クラブ奉仕担当	飯田 貢一 会員
職業奉仕担当	松橋 博 会員
社会奉仕担当	山本 一男 会員
国際奉仕担当	三本木 元 会員
青少年担当	村上 教忍 会員
ロータリー財団担当	石上伊佐男 会員
S.A.A.	小川 清太 会員
会 計	白井 弘徳 会員
幹 事	斉藤 紀一 会員

○交換学生委員会の新副委員長より、交換留学生のシェリー・デズローさんの送別会の件について報告していただきます。

新 博夫 副委員長報告

当クラブであずかっていたシェリー・デズローさんが、1月7日にオーストラリアに帰国いたします。1月7日午前に函館空港を出発して、成田空港に入りその日の内にオーストラリアに帰ります。

そこで、1月5日に、彼女のために送別会を開催いたします。場所は国際ホテルで、17:00からです。時間が早いのは、高校生の友だちがおり、早目に送別会を切り上げるためです。なるべく多数の方の参加をお願い致します。

●親睦委員会 太田 博 副委員長

ニコニコBOX投入報告

南木 会員……………BOXに協力。

安藤(勝)会員…………… ”

太田 会員…………… ”

松見 会員…………… ”

寺西 会員…………… ”

下郡山会員……………カレンダーに私の標語がのりました。

●ロータリー情報委員会 三沢 洋大 委員長報告

ロータリークラブのカレンダーに、下郡山会員の標語が、大きな文字でのりました。下郡山会員は、これまでも3回ほどカレンダーに標語がのったようですが、このような大きな文字入りは始めてだそうです。標語は、「ロータリーの活性化は、地域の活性化につながる」というものですが、この標語のヒントは三浦ガバナーと道南を一緒に歩いた時に得たものだそうです。忙しい中の御投稿ありがとうございます。

●幹事報告 石橋 輝男 幹事

1月7日の例会は、一乃松で新年会を兼ねた夜間例会になっております。

12月31日の例会は、12月27日の早朝例会に変更になっております。

他クラブでは、亀田R.C.の12月29日の例会は早朝例会に変更されております。

◎卓話 蔽下 義晴 会員

新入会員の卓話ということで、私にとっては、長い15分間ということになりそうです。企業のPRでもよいということですので、仕事に関連した話をさせていただきます。

まず自己紹介をさせていただきます。昭和18年6月28日生れで43才です。家族は、妻と中3男、中1男、小2女の5人で、にぎやかです。

勤務は、有限会社道南メンテナンスで、水処理や公害防止関係の仕事をしております。具体的には、浄化装置メンテナンス、ボイラーやビルの水処理機械と関連薬品の販売およびそのアフターサービス、ビルの清掃も含めたビル総合管理などを扱っております。

本日はこの中で特に、道南メンテナンスで扱っている水に関することについて、PRかたがた話をさせていただきます。

今話をしているこのホテルでも水を使っているわけですが、我々は、空気と同じように無意識のうちに水を扱っています。しかし、水は人間が生きていく上で欠くことのできないものです。

日本の場合、99%以上が水道の恩恵をこうむっています。江戸時代には、湧水や井戸水を売って歩いたこともあったそうですが、文政年間には、当時ソバの代金が16文で、水の代金が茶碗1杯で4文であったとの記録があります。

日本では、水道の蛇口からきれいな水が出てきて、いつでも心配なく飲めるようになっています。国によっては、そうした設備が遅れているそうで、トルコの国あたりでは、今でも水売りがおると聞いております。

ところで、この水道の水ですが、ビルの建物になると若干条件が異ってきます。ビルでは、水道の水は本管から直接蛇口には行かず、一たん屋上の水槽へポンプアップしてから使われます。その場合、途中の水槽等での汚染が問題となります。10年ほど前の話ですが、東京の有名な団地ビルの水槽に死体があっ

たということで大変話題になりました。今でも、水槽の通気口から鳥が入ったりすることもあります。

しかし現在では、そうした事故を防ぐための防護装置について、規制がつけられておりますので、心配は少くなりました。しかし、古いビルに入る場合はよく注意する必要があります。

ビル管理法では、年に一度水を抜いて検査することを義務づけています。これに関連した検査等の仕事を、うちの会社でやっております。

ショックな話や悪い話を例にいろいろと話を進めてまいりましたが、管理の仕方によってはそのようなこともあり得るということです。

ところで13世紀のフランスの話ですが、当時は夜間になると汚水をセーヌ河に流し込んだそうです。そのセーヌ河の水を汲んで、昼売り歩いたということです。また、ルイ14世がベルサイユ宮殿に城を移したのも、汚水の臭いのせいだったそうです。フランスの香水の発達も、そこから来ていると云われています。

日本では、カルシウムが溶けた若干酸性の水がおいしいといわれておりますが、日本は本当に水に恵まれた国であります。それだけに、時には水のことも改めて考えてみるのもよいのではないかと思ひまして、本日の話をさせていただきました。

ロータリークラブへは入会6ヶ月ですが、今後ともよろしくお願ひ致します。

●卓話 松見 修二 会員

9月に入会した、一番新しい会員です。是非卓話をとということですので、経験談を話させていただきます。

建築関係の仕事をしております。函工を出て大学に入ったのですが、東京オリンピックの2年前の昭和37年に、大学卒業の単位をかけて、駒沢体育館の設備関係の仕事させられました。高校時代は工業でしたので、タクトとか空調

とかの設備関係の仕事でしたが、6ヶ月間、なんとかこなすことができました。

この仕事で、学科の成績もよい方に向いたということで、単位をいただいて大学の方も無事卒業ということになりました。

そうしている内に、NHKの方から声がかかり、NHKがオリンピックに向けてサテライト局という小さな局を作っているの、その現場管理をしないかということになりました。北海道出身ということもあって、釧路の近くの工事現場に入りました。山の上に小さな局舎を建てるのですが、よく熊が出る場所です。ここでは、昭和38年の6月から9月までの4ヶ月間ほど仕事をしました。

それが終って、網走へ行けということになりました。そこでは、NHKのタワーの改修とFM局の局舎の増築をやることになりました。時期は9月末でした。35m程の鉄骨のタワーのボルトの締めつけを検査するのですが、一組2人で、ベンチ、ポンチ、紙等を袋に入れてタワーに登るわけ。人間、30m位の高さになると、足がすくんでもうだめです。それでも若さがありましたのでトルクレンチという器具を扱いながら、35mの最頂上まで検査をやり通しました。その後、3日ほど寝込みました。

このような経験をした後で、現在勤めている、函館の北匠建築設計事務所に勤務することになりました。現在まで、約25年間勤めております。この間、いろいろなことをやらせていただいておりますが、仕事としては、公官庁関係が多く、学校とか病院の施設などをよく扱いました。

設計の中で一番むずかしいのは、住宅の設計です。住宅は人が住む一番基本的なものだからです。住宅の基本設計から管理までを、いかにうまくやるかということは、その家の奥さんをくどき落とすようなものです。御主人は、昼外に勤めに出て、夜帰るだけの弱い立場にあります。それに対し、このごろの奥さん方は、婦人雑誌等で住いのことをよく勉強していて、かなりの知識を持って

おります。したがって、我々専門家でも、並大抵のことでは歯がたたなくなつてきておるのです。

建築では、基本設計が一番大事な要素です。基本設計が十分でないと、次の実施設計には移れないのです。時々、お客さんから、この壁は取りはずしてくれなどによくいわれるのですが、建築基準法に決められていたり、それを取りはずすと建物もたなくなるような場合がよくあります。ですから、基本設計では、十分に詰めておく必要があります。

いろいろな設計にたずさわってきましたが、仕事の上から皆さんにアドバイスするとすれば、函館の場合は、砂地や軟弱な地盤が多いので、特に基礎を大事にされることです。

今後、ロータリー活動にも十分参画させていただきますので、よろしくお願いいたします。

◎ 出席報告

会 員 数	65名	出 席 率	函 館 北 12月10日	93.22%
出 席 席	41名		函 館 東 12月 9日	95.00%
欠 席 席	24名		函 館 12月 4日	90.56%
他クラブ出席	14名		函館五稜郭 12月 5日	100.00%
出席合計	55名		函 館 亀 田 12月 8日	79.17%
除 外 者	0名			

次回・12月27日
プログラム

早 朝 例 会
(12月31日(水)の例会にかえて)

例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 例会場：函館国際ホテル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

第251地区 第11分区



1986～1987

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

マット・カパラス 国際ロータリー会長テーマ

Rotary brings hope

ロータリーは希望をもたらす



7-5.
毘法華の海 椎谷 龍彦 会員

《第1133回例会》 第27回 12月27日(土)

本日のプログラム

早 朝 例 会

7:30 国際ホテル

★会 長 沢田 鶴造 ★幹 事 石橋 輝男